

令和元年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
1	6款1項4目 農業振興費	210-100-1 農業振興担い手育成事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	21	町の基幹産業である農業の振興と経済活性化、農地保全は非常に重要である。これまでも国の制度等の活用により各種の事業を実施しているが、特に農業者の高齢化を踏まえた担い手確保は大きな課題であり、町が主体的に取り組む必要がある。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	21	高齢化や産業構造の変化を踏まえ、担い手確保と農業者支援の対策は町の重要課題であり、その他の関連事業と連携して農業全体の活性化を推進しなければならない。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	18	情報や資金が不足している新規就農者に対する育成支援は非常に重要であり、農業次世代人材投資事業などの支援が十分であるか常に検証をしながら取り組むべきである。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	18	目標の算定根拠は示されていないが、町が目標とした認定農業者数は達成されている。また、経営規模の拡大や経営安定化を図るための法人化なども進んでおり、担い手育成について一定の成果はあると認められる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
2	1 きわめて良好である 100点	78
	② 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
1	① 拡充する	高齢化が急速に進む中で地域の農業と農地を守るためには、様々な課題等の解決を含めた育成支援を行う必要性があり、今後も担い手育成事業を継続していかなければならない。 その上で、本町における農業のあり方をきちんと見据えながら、農地の集約や集積、農業者の経営拡大、法人化を積極的に推進すべきである。 以上のことから「拡充する」と評価する。
	2 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
農業従事者の減少は農業の持続的発展の大きな弊害となっている。新規就農者の継続的な育成は喫緊の課題であるとともに、農業のみならず町民の生活環境を守っていくためにも大切である。 また、農業の課題は町の政策的な問題をも含むものであり、農業が就農者の生き甲斐となり、農業の果たす役割が食を含め町全体を守ることであると町民全体で認識していかなければならない。